

企画展

短刀に

2025

2・1◆土―4・13

◆日

9時～17時（入館は16時30分まで）
※期間中は休館日なし
桜まつり期間中は延長開館あり

「もののふ最期のよりどころ」

魅せられて



[左]短刀 銘 藤原國廣／
岐阜関ヶ原古戦場記念館蔵
[右]小牧長久手合戦図屏風(部分)／
当館蔵 ※パネル展示



三河武士のやから家康館

〒444-0052 愛知県岡崎市康生町561-1 岡崎城公園内 TEL 0564-24-2204

企画展 短刀に 魅せられて

～もののふ 最期のよりどころ～



短刀 銘 来国光(号 有馬来国光)／個人蔵



短刀 銘 国光(新藤五)／刀剣ワールド財団(東建コーポレーション株式会社)蔵



寸延短刀 銘 平安城長吉／当館蔵(画像提供:岡崎市美術館)

入館料 大人(中学生以上)／400円
小人(5歳以上)・市民割(高校生以上)／200円

会場 三河武士のやかた家康館
企画展示室1(特別展示室)・企画展示室2

主催 岡崎市／岡崎城公園指定管理者
一般社団法人岡崎パブリックサービス

協力 日本美術刀剣保存協会三河支部

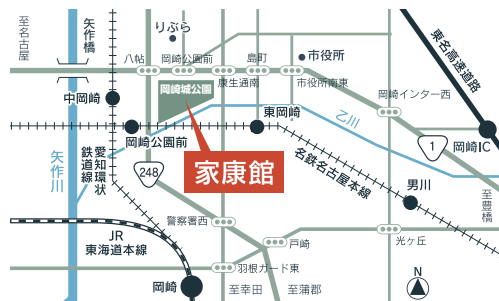
交通案内

- 名鉄「東岡崎駅」より徒歩15分
- 愛知環状鉄道「中岡崎駅」より徒歩15分
- 名鉄東岡崎駅よりバス「康生町方面行き」乗車→「康生町」下車→徒歩5分
- JR岡崎駅よりバス「康生町方面行き」乗車→「康生町」下車→徒歩5分
- 車の場合は東名高速道路「岡崎IC」より名古屋方面へ3km(国道1号線沿い)

駐車場案内
(利用時間)24時間制

乗用車	[7:00～22:00]150円/30分
バス	[22:00～翌日7:00]50円/30分 上限1,500円
	[7:00～22:00]2,000円/1回
	[22:00～翌日7:00]1,000円/1回 上限3,000円

※桜まつり期間中は料金を変更する場合がございます。



関連イベント

◆展示協力者によるギャラリートーク

日本美術刀剣保存協会三河支部会員の方が、ご自身の短刀について熱く語ります。

日時 2月16日(日)、3月15日(土)

14:30～(45分程度)

場所 当館エントランスホール集合

参加費 入館料のみ

◆日本刀相談会

日本美術刀剣保存協会三河支部会員の方による日本刀相談会です。

日本刀の見方や保管・手入れ方法など、あらゆる日本刀の疑問にお応えします。

日時 2月16日(日)、3月15日(土)

10:00～12:00、13:00～14:00

場所 当館回廊展示コーナー

参加費 入館料のみ

※日本刀を持ち込む場合は必ず「銃砲刀剣類登録証」をご持参ください。なお、日本刀の金銭的な価値をお伝えすることはできません。

◆日本刀鑑賞会

展示ケースを隔てることなく、日本刀をご鑑賞いただけます。

日時 3月1日(土)、4月12日(土)

13:30～15:00

場所 城南亭(岡崎城公園内)

定員 各回10名(先着)

申込 2月8日(土)9:00から

電話(0564-24-2204)にて受付

参加費 500円(抹茶一服付)

短刀とは、現在では刃長一尺(約30cm)未満の日本刀のことをさし、一番身近な武器として懐中深く忍ばせることから「懐刀」とも呼ばれました。接近戦において敵を刺したり敵の首を掻いたり、ときには自害の際に用いられたり、武士(もののふ)にとっては自身の命を委ねる「最期のよりどころ」といえるでしょう。また、「お守り刀」として花嫁や、子どもの誕生祝いに送られる生活道具としても価値を見出されました。

太刀や打刀のようなダイナミックさはなく、全体の姿・形が一見できる短刀ですが、それゆえに一寸の狂いが命取りとなる製作は困難を極めるものであります。そうして刀工が心血注いで製作した短刀は、美しい輝きを放ち古来より多くの人々を魅了してきました。

本展覧会にお越しいただいた皆様には、様々な地域や時代の短刀に「魅せられて」いただきます。

同時開催

どうする家康 大河ドラマ館復刻展示ファイナル

～どうする家康 大河ドラマ館復刻展示～

これまで展示してきた衣装や小道具などが
見納めとなります。お見逃しなく!